

ルワンダ月報（2022年11月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 2日、カガメ大統領は、東アフリカ共同体（EAC）のマトウキ事務局長を大統領府に迎え、EAC加盟国の政治・経済統合を推進する事務局の活動について、報告を受けた。
- 7日、ルワンダ国防省は、コンゴ民主共和国（DRC）所属の戦闘機が、ルワンダの領空を侵犯し、コンゴ国境近く西部州に位置するルバブ空港に短時間着陸した後、出発したと報じた。
- 7日、カガメ大統領は、エジプトでケニアのルト大統領と会談。ルト大統領は「両国の国民の相互利益のために、ルワンダとの貿易と投資の拡大を期待」とツイッターで述べた。
- 8日、カガメ大統領はエジプトで開催されている国連気候変動サミット（COP27）にて先進国の炭素排出量を削減し、アフリカへの投資を拡大するように演説した。
- 8日、カガメ大統領は、エジプトで行われたブルンジ大統領率いるEAC首脳会議に出席。このコンゴ民主共和国の安全保障に関する会合にはタンザニアのサミア大統領、ケニアのルト大統領、コンゴ民主共和国のルコンデ首相が出席した。
- 8日、コンゴ民主共和国軍の戦闘機が、月曜日にルワンダ領空を侵犯したとし、ルワンダはこれを挑発行為であるとした。コンゴのスホーイ25戦闘機がルワンダ西部州のルバブ空港に短時間着陸。ルワンダ政府はコンゴ（民）政府に対して正式に抗議した。（Euronews）
- 9日、エジプトで開催されている国連気候変動サミット（COP27）出席の際に、フランスのコロンナ外務大臣とビルタ外務大臣が会談し、フランスはルワンダのコンゴ民主共和国との紛争解決を支持すると表明。
- 9日、マナセ国務大臣がナイロビ拠点のバルバドス高等弁務官の信任状の写しを受領。両国は航空サービス協定とスポーツ協力協定に署名。
- 10日、カガメ大統領はガタバジ氏に代わる地方行政大臣にムサビマナ氏を任命。
- 12日、コンゴ民主共和国（DRC）の安全保障協議の仲介役を務めるアンゴラの・ロウレンソ大統領はルワンダを訪問、カガメ大統領と地域の安全保障について話し合った。

- 12日、ビルタ外務大臣は、第5回パリ平和フォーラムのためにフランスを訪問。
- 14日、カガメ大統領は昨日午後、ECOWAS 現議長を務めるギニアビサウのエンバロ大統領を迎え、両国の関係について話し合った。ルワンダとギニアビサウは、すでに経済貿易、教育、観光、会議計画、環境保護など様々な分野での協力している。
- 14日、カガメ大統領は、バリ島で岸田首相と会談。両者は、気候変動の緩和、インフラ開発、官民投資の分野を含む既存の二国間協力をさらに強化について意見交換を行った。
- 15日、カガメ大統領はバリ島でG20の議長国であるインドネシアのウィドド大統領と二国間協力の将来について協議。
- 15日、プリンケン米国国務長官は、バリのG20会議の際に、ビルタ外相と会談し、コンゴ民主共和国東部で続く暴力に対する米国の深い懸念を強調し、ルワンダに対し、段階的緩和のための積極的な措置を取るよう求めた。
- 17日、国際刑事裁判所残余メカニズム検事のブランメルツ氏は、11月14日から18日までキガリを公式訪問。検事はルワンダ政府の主要関係者と会談する予定であり、ルワンダ国際刑事裁判所によって起訴された残りの4人の逃亡者の件、カブガ氏の裁判の件が議論に含まれる。
- 19日、カガメ大統領と同夫人は、チュニジアで第18回ラ・フランコフォニー・サミットに参加。今回のサミットは「多様性における接続性-フランス語圏における開発と連帯のデジタルベクトル」をテーマとする。
- 19日、ルワンダ国境で、FARDC兵士がルワンダ兵士に発砲し、殺害されたとの情報が、ルワンダ軍RDFにより確認された。
- 21日、チュニジアで開催された第18回サミットで、ルワンダの前外務大臣のムシキワボ氏が4年の任期でラ・フランコフォニー国際機関(OIF)事務総長に再選された。
- 23日、ンギレンヘ首相は、ルワンダでの任務を終える今井駐ルワンダ日本国大使を迎え、長い二国間関係から得られた成果や現在進行中の協力分野について話し合った。
- 23日、コンゴ(民)のチセケディ大統領とルワンダのビルタ外相は、コンゴ東部での武装勢力による緊張が高まっている中、アンゴラで会談。カガメ大統領は出席していなかった。(AFP)
- 23日、アンゴラで行われた、コンゴ(民)大統領とルワンダ外相を含む首脳会談成果文書では、コンゴ東部における停戦を今週末に実施するよう求めた。(AP)

- 24日、ビルタ外務・国際協力大臣は退任される今井駐ルワンダ日本国大使を迎え、二国間の協力強化について話し合った。(The New Times)
- 28日、カガメ大統領はンガミジェ氏の後任としてンサンジマナ氏を保健大臣に任命。
- 28日、カガメ大統領とコンゴ（民）チセケディ大統領は、ナイロビ・プロセスの枠内で11月28日から12月3日まで開催されている第3回コンゴ和平協議の開会式にビデオ会議で参加。

2. 開発協力

- 7日、マナセ国務大臣は、新JICAボランティア11名による表敬を受けた。
- 15日、ルワンダは、エジプトでのCOP27の傍ら、公共部門が主導する気候変動対策に投資する新しい基金、NCDファシリティを立ち上げた。ルワンダグリーンファンドによって管理され、ルワンダ・ドイツ気候・開発パートナーシップを通じて、ドイツ連邦共和国から4600万ユーロの助成金によって資本化された。
- 23日、欧州連合は、教育省と共同で、ルワンダで初の国家技能開発基金(NFSD)を設立可能性についての調査を開始。この基金は、技能開発のための資金調達モデルを確立し、ルワンダの高技能労働力を確保することを目的とする。
- 26日、在ルワンダオランダ王国大使館の資金提供による「ルワンダの園芸開発への投資」プロジェクト(HortInvest)の一環として、ルワンダ産アボカドの冷蔵コンテナが海上輸送開始。
- 28日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣と王駐ルワンダ中国大使は、ルワンダと中華人民共和国の開発協力に関して協議。会談の中で、中国がルワンダに対する5千万人民元(約715万米ドル相当)の無利子貸付の債務を帳消しにする合意書に署名した。

3. 経済

- 3日、スウェーデンにて輸出促進を目的に、紅茶、コーヒー、チリ、新鮮な果物や野菜、手工芸品などのルワンダ製品の展示会が行われた。
- 5日、ルワンダ電力庁(REG)は、ルワンダの世帯の74.5%、合計200万世帯が電気に接続していると発表。2024年までに全世帯で電気が使用可能になることが期待されている。
- 7日、ルワンダエアー、キガリ-ロンドン間に直行便を開設。
- 10日、ルワンダとバルバドスはキガリで開催されたルワンダ×バルバド

ス投資フォーラムにおいて、貿易・投資関係を強化。

- 11日、食料品とノンアルコール飲料がルワンダの消費者物価指数（CPI）によると2022年10月には2021年同月に比較し39.7%増加。都市部における日用品は前月に比べ5.3%増加。（The New Times）
- 16日、世界銀行の新しい報告書によると、ルワンダが2035年の中所得国目標を達成するために、地域貿易の機会と交渉を改善する必要があるとしている。報告書によると、ルワンダは世界的にも最も高い成長率で、貿易政策やビジネスの改善に取り組んでいるにもかかわらず、主要な地域パートナーへの輸出は停滞しており、依然として地域貿易への開放度が低いことが示された。ルワンダの商品及びサービスの輸出は、GDPの21.1%に相当し、低所得小国（人口2000万人未満）の22.4%、中所得小国の平均34.7%よりはるかに低いことが示された。（KTPress）
- 23日、21日から24日までイスタンブールにてルワンダ・トルコ経済ビジネスフォーラムが開催。ルワンダのトルコへの輸出は、年間1,000万ドル以上に増加している。（The New Times）
- 24日、米国運輸省（DOT）の連邦航空局（FAA）は、ルワンダ共和国が国際航空安全評価（IASA）カテゴリ1を達成し、国際民間航空機関（ICAO）の基準に適合していることを発表。カテゴリ1の認定を受けたルワンダの航空会社は、米国に就航し、米国の航空会社とのコードシェア契約を無制限に締結することが許可される。
- 24日、イタリアのエネルギー企業であるエニ社は、農業、森林生態系の保護、科学技術、保健における革新的な共同イニシアティブを開発するために、ルワンダ政府と4つの協定に調印した。
- 24日、ルワンダエア初の貨物機がキガリ国際空港に着陸。ドバイおよびアラブ首長国連邦（UAE）への「輸出入リンク」として機能し、またアフリカ大陸内の数路線で使用される予定である。（The New Times）
- 24日、MTNルワンダは、キガリ銀行と共同で、顧客がスマートフォンやタブレットを信用購入できるプログラムを開始。
- 25日、カガメ大統領はアフリカ連合（AU）工業化と経済多様化に関する臨時サミットと、アフリカ大陸自由貿易地域（AfCFTA）に関する臨時会合の2つのサミットのためにニジェールに滞在。

以上